

校 訓
文武一道

本校の教育目標
至誠業に励み 雄大剛健の風を養い ともに敬愛切磋を怠らず

生徒の実態，教師の願い
<ul style="list-style-type: none"> <li>・素直で明るく、将来に向けて明確な目標を持って、学校生活を送っている生徒がほとんどである。</li> <li>・失敗してもあきらめず、粘り強くものごとにあたり、人とのかかわりを大切にしながら、社会に貢献できる有為な人材を育成する。</li> </ul>

保護者や地域の願い
<ul style="list-style-type: none"> <li>・よりよい人間関係を築き、協力協働することができ、将来は各界のリーダー的存在となって社会に貢献できる生徒の育成。</li> </ul>

「志教育」の目標
<ul style="list-style-type: none"> <li>○学友と相携えながら、敬愛の精神を備えた生徒の育成</li> <li>○この上ない誠実さで学問に努め、強くたくましい心身を持てる生徒の育成</li> <li>○真摯な姿勢でものごとに対処できる、度量の大きな心豊かな生徒の育成</li> </ul>

重点指導事項		
人と「かかわる」	よりよい生き方を「もとめる」	社会での役割を「はたす」
<p>ホームルームでの諸活動を基礎として、他者の価値観や個性を理解するとともに、様々な人と場に応じた適切なコミュニケーションを図りながら集団生活を送れるようにする。</p>	<p>自己の興味・関心・適性に応じた職業や生き方について考え、その実現に向けて日々の学習や特別活動に全力で取り組ませる。</p>	<p>学校や社会において自分の果たすべき役割を認識させ、各自が社会の発展と幸福に寄与できるよう高い志を持たせる。</p>

各教育活動における取組の観点	
各教科	主体的に学習に取り組む姿勢を確立させ、各教科・科目を通して、人間としての在り方生き方について幅広く考えさせながら、将来の目標に向かわせる力を身に付けさせる。
道徳	教育活動全体を通し、常に自己と重ね合わせ考える習慣を身につけさせる。生徒個々の発達段階を考慮しながら、部活動や教科の題材を通して、集団の中での社会性を身に付けさせる。
／総合的な学習の時間	現代社会の諸課題や進路について見つめる活動、自己表現力を高める活動等を通して、自己実現に向けて適切な進路目標を確立させ、その目標達成までの課題を自ら見付け、その解決に主体的、創造的に取り組む態度を育てる。
特別活動	学校生活の充実と発展に資する各種の活動を重視し、自主的・自発的な態度を養うとともに集団の所属感を深めさせる。
その他	将来の職業を見据えた進学先の選択や、学習意欲を持続できるように、段階的な知識の習得を目指す。先人の考えを学ばせ、広い視野と様々な物事を捉える視点を身に付けさせ、また社会の仕組みを理解させ、進学後も意欲的に社会で活躍できる人材を育てる。

各学年の取組内容	
1年	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 新入生オリエンテーション</li> <li>② 未来・創造キャリアプロジェクト2021（希望者）</li> <li>③ オープンキャンパス見学会</li> <li>④ 岩手山登山</li> <li>⑤ 進路講演会</li> <li>⑥ 一日大学</li> <li>⑦ 「総合的な探究の時間」を利用した各種取り組み</li> <li>⑧ 「医進会」における各種取り組み（希望者）</li> </ol>
2年	<ol style="list-style-type: none"> <li>① オープンキャンパス見学会</li> <li>② 東京大学研究所訪問（希望者）</li> <li>③ 進路講演会</li> <li>④ OB・OGゼミナール</li> <li>⑤ 「情報」英語発表会</li> <li>⑥ 「総合的な探究の時間」を利用した各種取り組み</li> <li>⑦ 国際交流研修（希望者）</li> <li>⑧ 「医進会」における各種取り組み（希望者）</li> </ol>
3年	<ol style="list-style-type: none"> <li>① オープンキャンパス見学会</li> <li>② 進路講演会</li> <li>③ 「総合的な学習の時間」を利用した各種取り組み</li> <li>④ 三者面談による個別の進路指導</li> <li>⑤ 進路目標達成に向けての各種試験対策</li> <li>⑥ 「医進会」における各種取り組み（希望者）</li> </ol>

家庭との連携
PTA活動や学校評価、授業公開等の機会を通じて情報交換をはかり、心身ともに健やかな成長を支援する。

地域・企業との協働
大運動会や一・二高定期戦などの行事を通して、地域の人々の理解と協力を仰ぐなど、連携を大切に社会の一員であることを自覚させる。